

ブラジル・メキシコ・アルゼンチン 経済・金融概況 (2025年1月)

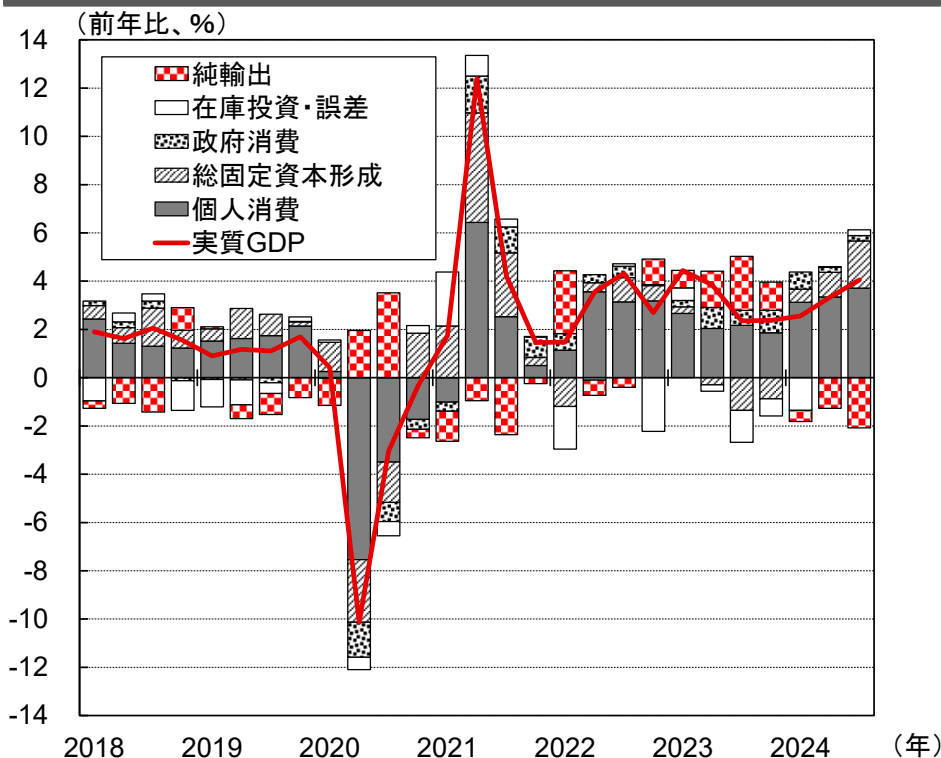
2025年1月20日

三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室

1. ブラジル (1) 景気概況

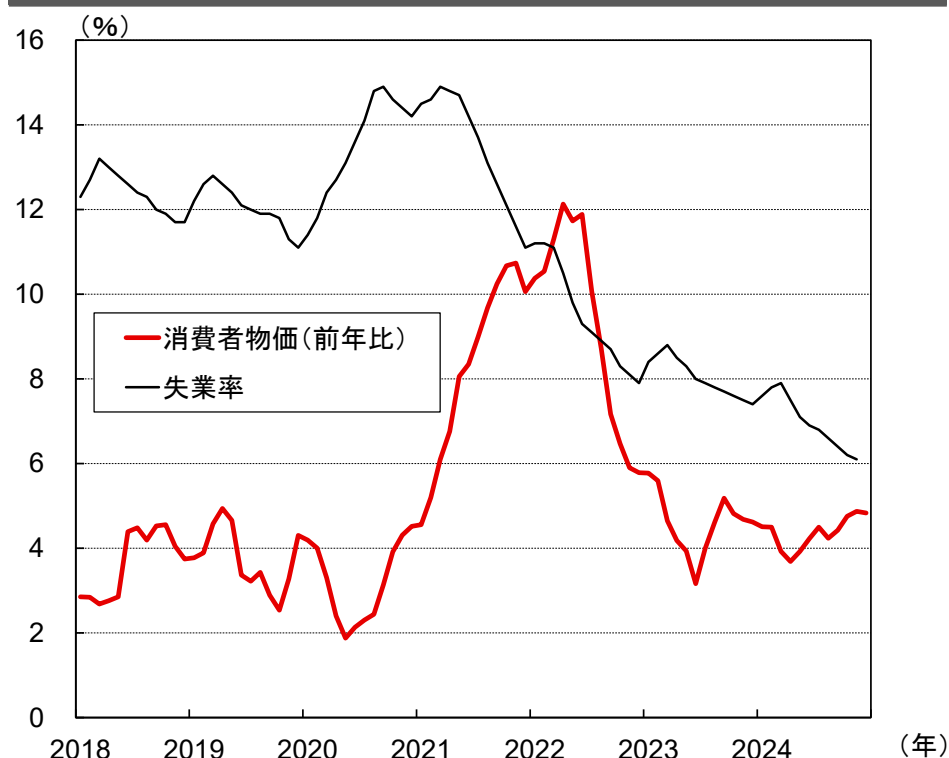
- 2024年7-9月期の実質GDP成長率は前年比+4.0%と前期(同+3.3%)から加速。需要項目別の寄与度では、個人消費(同+3.7%ポイント)と総固定資本形成(同+2.0%ポイント)は前期からプラス幅が拡大したほか、在庫投資・誤差(同+0.2%ポイント)はプラスに転じた。一方、内需の好調さを反映して輸入が増加し、輸出は横這いであったことから、純輸出の寄与度(同▲2.1%ポイント)はマイナス幅が拡大した。なお、ブラジルの財務相は、2024年の年間成長率が前年比+3.6%になるとの見通しを示した。
- 同年11月の失業率は6.1%と緩やかな低下傾向が継続。
- 同年12月の消費者物価指数は前年比+4.8%と、3ヵ月連続でブラジル中央銀行の定めるインフレ目標(前年比+3%±1.5%)の上限を超過。

実質GDP成長率の推移



(資料)ブラジル地理統計院統計より国際通貨研究所作成

消費者物価上昇率と失業率の推移

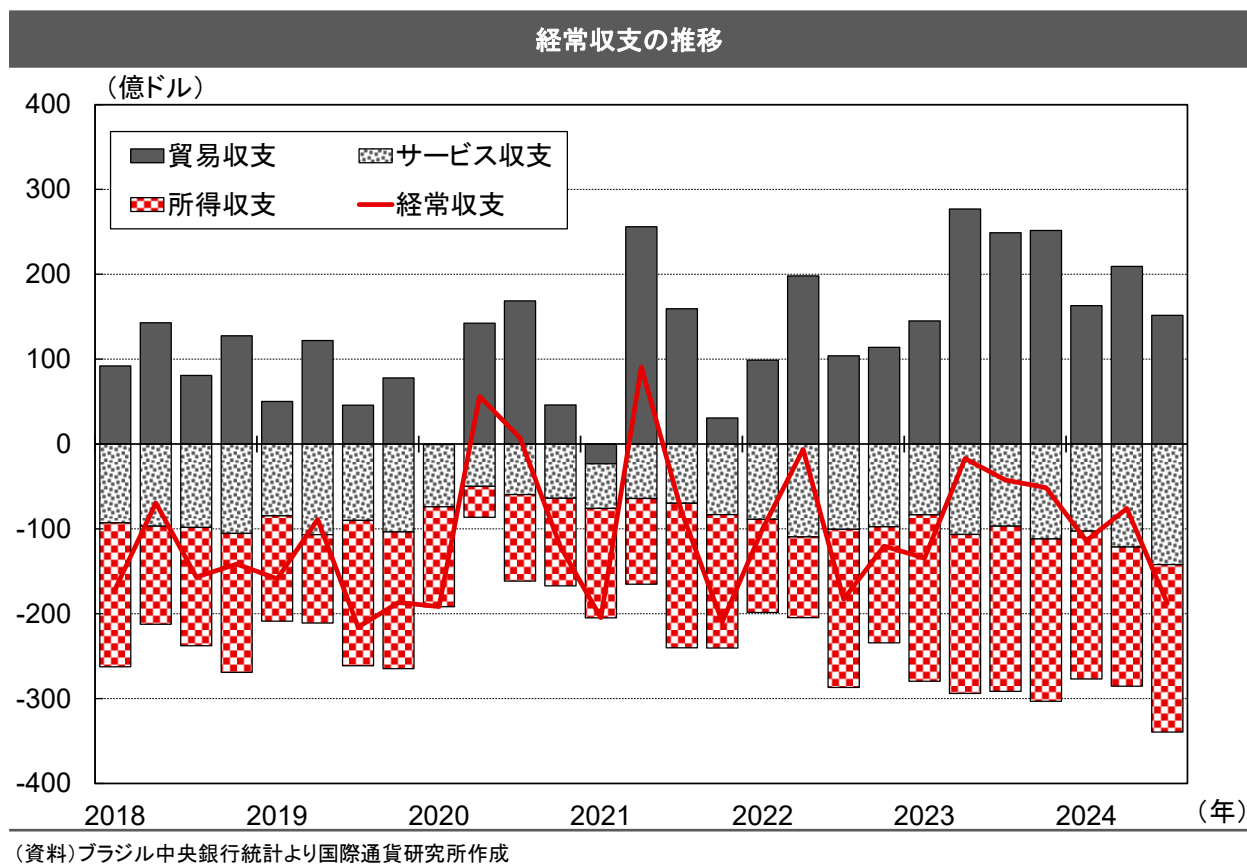


(注)失業率は未季節調整値。

(資料)ブラジル地理統計院統計より国際通貨研究所作成

1. ブラジル (2) 経常収支

- 2024年7-9月期の経常収支は▲188億ドルと、前年同期の▲42億ドルから赤字幅が拡大。
- 貿易収支が152億ドルと、前年同期の249億ドルから大幅に黒字幅を縮小させたことが主因。サービス収支は▲142億ドル、所得収支は▲197億ドルと、それぞれ赤字幅が拡大。



1. ブラジル (3) 金融市場

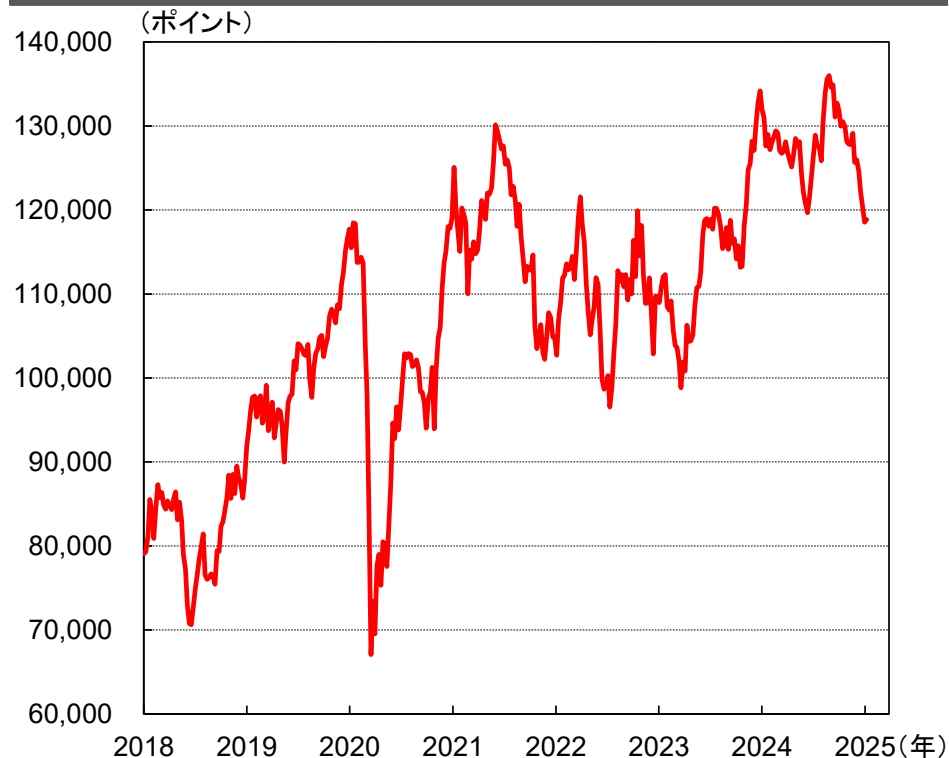
- ブラジル中央銀行は2024年12月の金融政策委員会において、上昇傾向にあるインフレを抑制するため、政策金利を1%ポイント引き上げて12.25%としたほか、今後2会合で同じ幅での利上げを実施する見通しも示した。
- ブラジルレアルの対ドル相場は、ブラジルの財政悪化懸念や米金利の高止まりを受けてレアル売りが続き、1ドル=6.0レアル台と史上最安値圏で推移。これを受けてブラジル中央銀行は12月に、1日としては史上最大規模となる80億ドルのドル売り入札を行うなど、為替介入を実施。
- 株価(ボブスパ指数)は急落し、足元で120,000ポイントを下回って推移。

ブラジルレアル(対米ドル)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

株価(ボブスパ指数)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

1. ブラジル (4) 経済・金融概況

ブラジルの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2021	2022	2023	23/10-12	24/1-3	4-6	7-9	24/9	10	11	12
実質GDP成長率(前年比、%)	(4.8)	(3.0)	(3.2)	(2.4)	(2.6)	(3.3)	(4.0)				
経済活動指数○	138.95	142.84	146.81	147.02	149.20	151.24	153.11	154.15	154.37	—	—
鉱工業生産(前期比、%)○	(4.2)	(▲0.7)	(0.3)	(1.4)	(0.6)	(0.8)	(1.3)	(0.9)	(▲0.2)	(▲0.6)	—
設備稼働率○	(80.9)	(80.4)	(78.7)	(78.8)	(78.9)	(79.3)	(79.5)	(79.7)	(79.4)	—	—
小売売上高(前年比、%)	(2.2)	(1.1)	(1.7)	(1.4)	(5.9)	(4.7)	(4.1)	(2.3)	(6.7)	(4.7)	—
自動車国内販売台数(千台)	2,120	2,104	2,309	679	515	629	715	236	265	253	257
失業率(%)	(13.5)	(9.5)	(8.0)	(7.5)	(7.8)	(7.2)	(6.6)	(6.4)	(6.2)	(6.1)	—
消費者物価上昇率(IPCA) (前年比、%)	(8.3)	(9.3)	(4.6)	(4.7)	(4.3)	(4.0)	(4.4)	(4.4)	(4.8)	(4.9)	(4.8)
卸売物価上昇率(前年比、%)	(37.0)	(11.2)	(▲6.1)	(▲6.4)	(▲6.4)	(▲1.8)	(4.1)	(4.5)	(5.9)	(7.0)	(7.2)
輸出(FOB)(億ドル)	2,808	3,341	3,397	868	785	901	886	286	295	282	—
(前年比、%)	(34.2)	(19.0)	(1.7)	(4.7)	(1.5)	(▲0.9)	(▲0.2)	(▲0.9)	(▲1.1)	(0.4)	—
輸入(FOB)(億ドル)	2,194	2,726	2,408	617	622	691	734	242	262	219	—
(前年比、%)	(38.2)	(24.2)	(▲11.7)	(▲13.8)	(▲1.0)	(9.5)	(15.0)	(18.2)	(23.4)	(8.9)	—
貿易収支(億ドル)	423	515	923	252	163	209	152	45	33	63	—
経常収支(億ドル)	▲404	▲409	▲245	▲51	▲114	▲76	▲188	▲68	▲60	▲31	—
直接投資ネット流入(億ドル)	464	746	624	77	246	132	178	52	57	70	—
外貨準備高(億ドル)◎	3,094	2,719	3,170	3,170	3,172	3,067	3,191	3,191	3,113	3,106	2,827
ベースマネー(億リアル)◎	4,092	4,197	4,227	4,227	4,178	4,369	4,299	4,299	4,377	4,369	4,512
政策金利(Seric Target rate)◎	(9.25)	(13.75)	(11.75)	(11.75)	(10.75)	(10.50)	(10.75)	(10.75)	(10.75)	(11.25)	(12.25)
対米ドル為替相場◎	5.580	5.217	4.841	4.841	4.996	5.559	5.448	5.448	5.778	6.053	6.192
株価指数(ボベスパ指数)◎	104,822	109,735	134,185	134,185	128,106	123,907	131,816	131,816	129,713	125,668	120,283

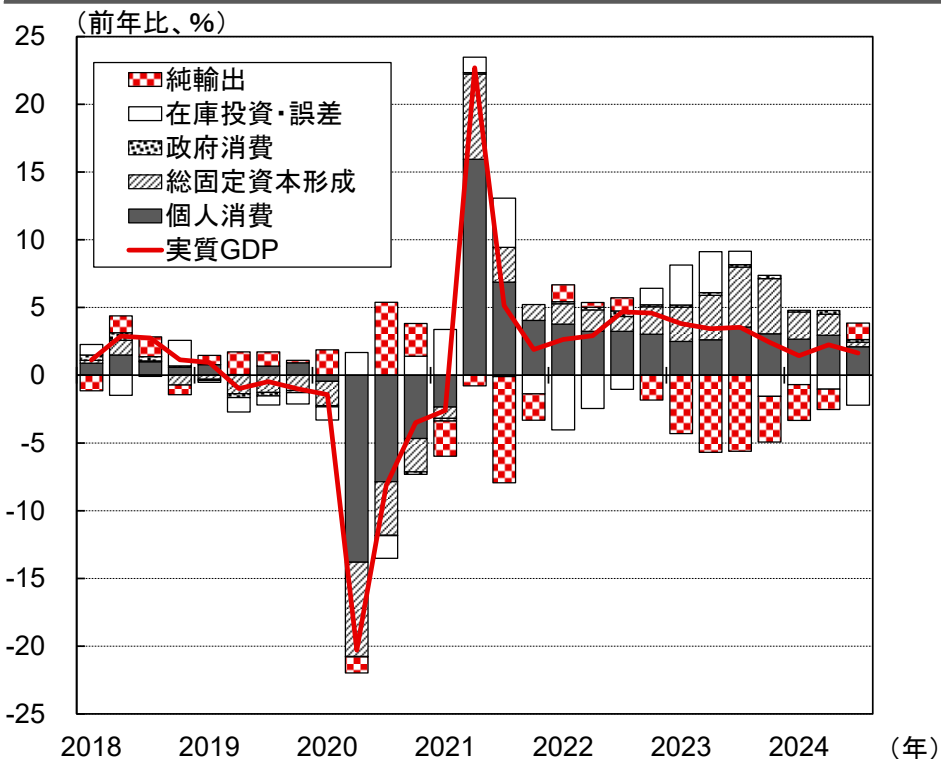
(注)◎印:期末値、○印:季節調整値

(資料)ブラジル中銀、ブラジル地理統計院(IBGE)、世界銀行、サンパウロ証券取引所より国際通貨研究所作成

2. メキシコ (1) 景気概況

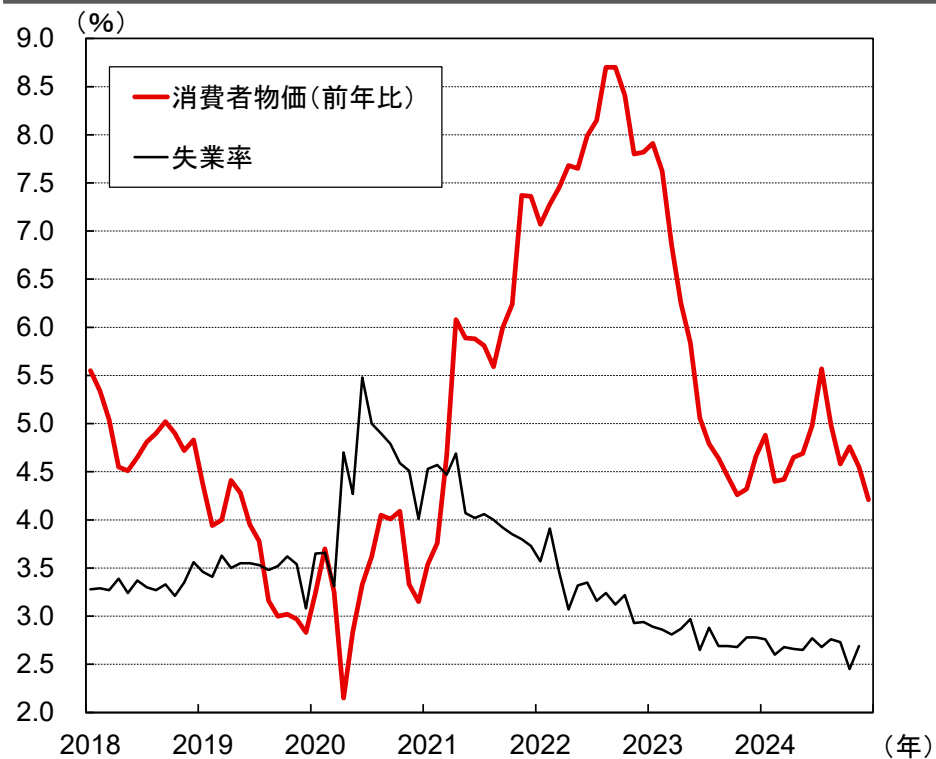
- 2024年7-9月期の実質GDP成長率は前年比+1.6%と、前期(同+2.2%)から減速。需要項目別の寄与度では、純輸出(同+1.2%ポイント)がプラスに転じたものの、個人消費(同+2.1%ポイント)と総固定資本形成(同+0.3%ポイント)はプラス幅が縮小し、在庫投資・誤差(同▲2.2%ポイント)はマイナス幅が拡大した。
- 同年11月の失業率は2.7%と低位で推移。
- 同年12月の消費者物価上昇率は前年比+4.2%と、メキシコ銀行の定めるインフレ目標(前年比+3%±1%)の上限を超過しているものの、減速傾向。

実質GDP成長率の推移



(資料) 国立統計地理情報院統計より国際通貨研究所作成

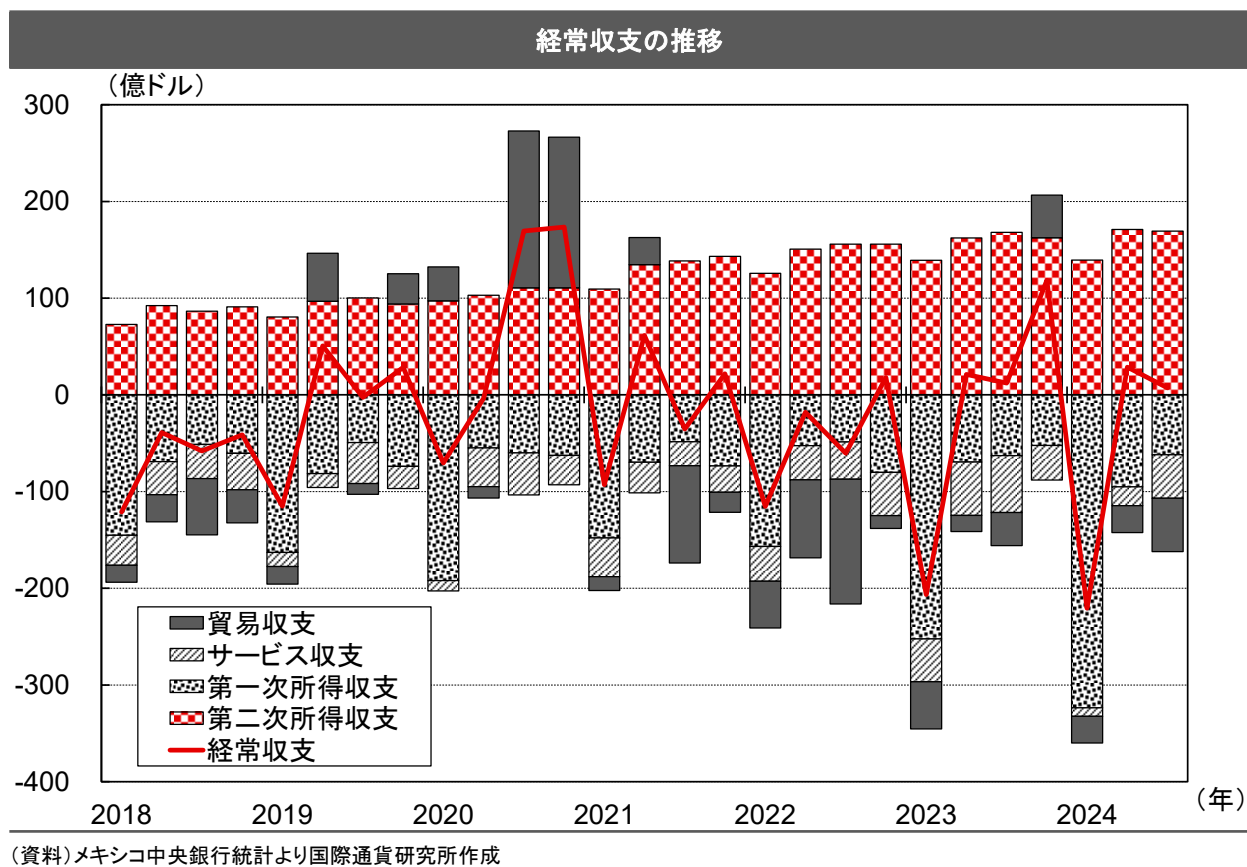
消費者物価上昇率と失業率の推移



(資料) 国立統計地理情報院統計より国際通貨研究所作成

2. メキシコ (2) 経常収支

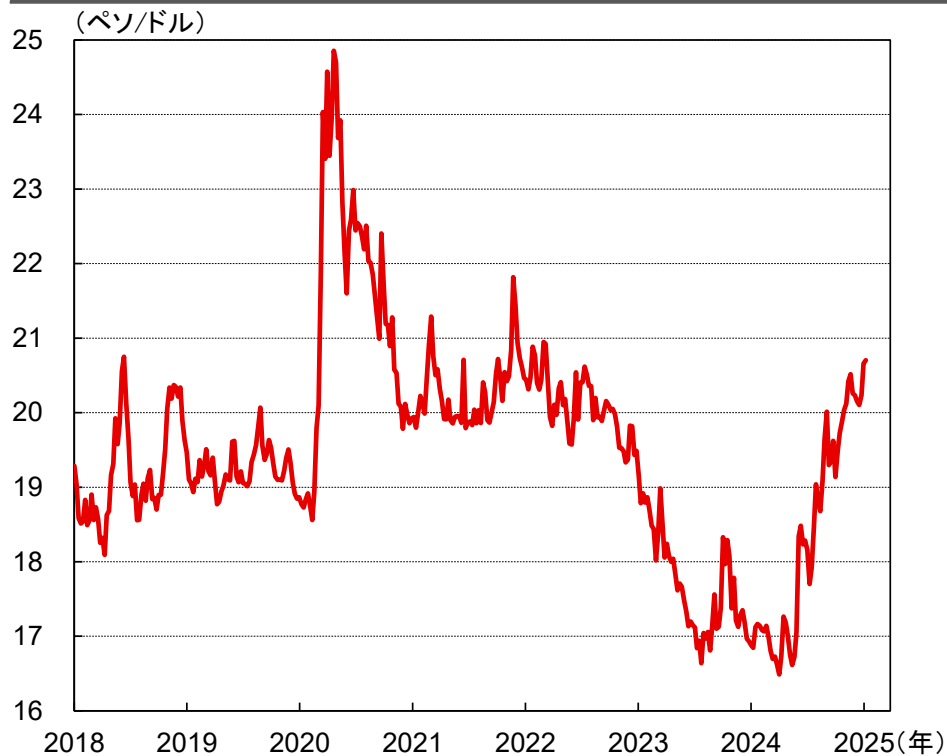
- 2024年7-9月期の経常収支は7億ドルと、前年同期の12億ドルから黒字幅が小幅に縮小。
- 内訳をみると、貿易収支が▲55億ドルと赤字幅が拡大。サービス収支は▲45億ドルと赤字幅が縮小し、所得収支は107億ドルと横這い。



2. メキシコ (3) 金融市場

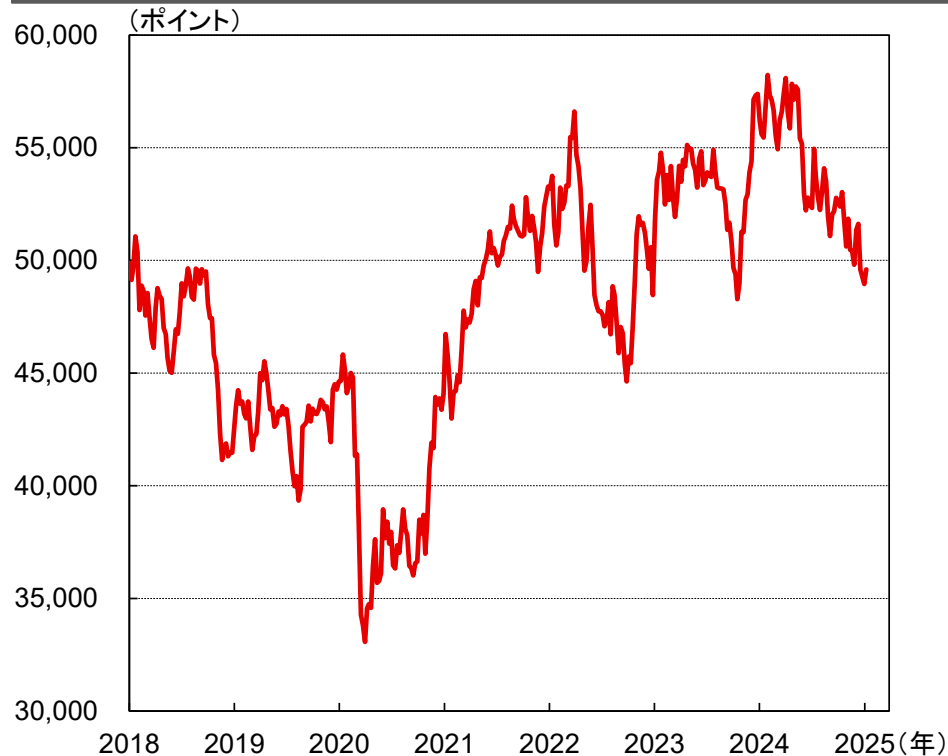
- メキシコペソの対ドル相場は、米大統領選に勝利したトランプ氏がメキシコからの輸入品に25%の追加関税を課す方針を示した影響等によりペソ安が進み、足元1ドル=20ペソ台で推移。
- 国内のインフレが鈍化傾向にある中、メキシコ銀行(中銀)は2024年12月の金融政策決定会合において、政策金利を0.25%ポイント引き下げ、10.0%とした。
- 株価(ボルサ指数)は、足元50,000ポイントを下回って推移。
- ムーディーズ・レーティングスは2024年11月、財政赤字の拡大や司法制度の見直しによるリスクを理由に、メキシコの格付け見通しを「安定的」から「ネガティブ」に引き下げた。

メキシコペソ(対米ドル)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

株価(ボルサ指数)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

2. メキシコ (4) 経済・金融概況

メキシコの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2021	2022	2023	23/10-12	24/1-3	4-6	7-9	24/9	10	11	12
実質GDP成長率(前年比、%)	(6.1)	(3.7)	(3.3)	(2.4)	(1.4)	(2.2)	(1.6)				
鉱工業生産(前期比、%)○	(6.5)	(4.8)	(3.4)	(1.0)	(▲1.4)	(0.3)	(0.5)	(0.6)	(▲1.2)	—	—
自動車生産台数(千台)	3,028	3,308	3,779	923	928	1,068	1,034	379	382	352	225
自動車販売台数(千台)	924	897	1,361	386	350	355	369	117	122	148	146
原油産出量(千バレル/日)*	1,756	1,784	1,875	1,856	1,820	1,784	1,764	1,749	1,718	1,673	—
(前年比、%)	(3.0)	(1.6)	(5.1)	(3.0)	(▲2.8)	(▲6.2)	(▲5.7)	(▲6.9)	(▲7.8)	(▲9.9)	—
原油輸出価格(米ドル/バレル)	65.6	88.8	70.9	74.8	72.7	74.2	69.2	65.6	66.4	65.1	—
失業率(%)○	(4.1)	(3.3)	(2.8)	(2.8)	(2.7)	(2.7)	(2.7)	(2.7)	(2.5)	(2.7)	—
消費者物価上昇率(前年比、%)	(5.7)	(7.9)	(5.5)	(4.4)	(4.6)	(4.8)	(5.0)	(4.6)	(4.8)	(4.5)	(4.2)
輸出(FOB)(億ドル)	4,949	5,777	5,930	1,513	1,435	1,559	1,563	496	577	520	—
(前年比、%)	(18.6)	(16.7)	(2.7)	(2.4)	(1.7)	(3.4)	(4.3)	(▲0.0)	(11.2)	(3.7)	—
輸入(CIF)(億ドル)	5,057	6,046	5,985	1,469	1,462	1,587	1,618	502	573	522	—
(前年比、%)	(32.0)	(19.6)	(▲1.0)	(▲1.5)	(0.2)	(4.1)	(5.6)	(▲1.8)	(9.7)	(5.1)	—
経常収支(億ドル)	▲45	▲176	▲55	118.5	▲220.6	28.5	7.3				
資本収支(億ドル)	▲0	▲1	▲0	▲0.1	0.1	▲0.0	▲0.6				
外貨準備高(億ドル)◎	2,024	1,991	2,128	2,128	2,172	2,200	2,267	2,267	2,261	2,284	2,290
ベースマネー(億ペソ)◎	24,408	27,000	29,605	29,605	30,433	29,952	30,730	30,730	30,654	31,538	32,934
政策金利◎	(5.50)	(10.50)	(11.25)	(11.25)	(11.00)	(11.00)	(10.50)	(10.50)	(10.50)	(10.25)	(10.00)
対米ドル為替相場◎	20.47	19.47	16.92	16.92	16.53	18.25	19.64	19.64	20.04	20.32	20.79
株価指数(ボルサ指数)◎	53,272	48,464	57,386	57,386	57,369	52,440	52,477	52,477	50,661	49,813	49,513

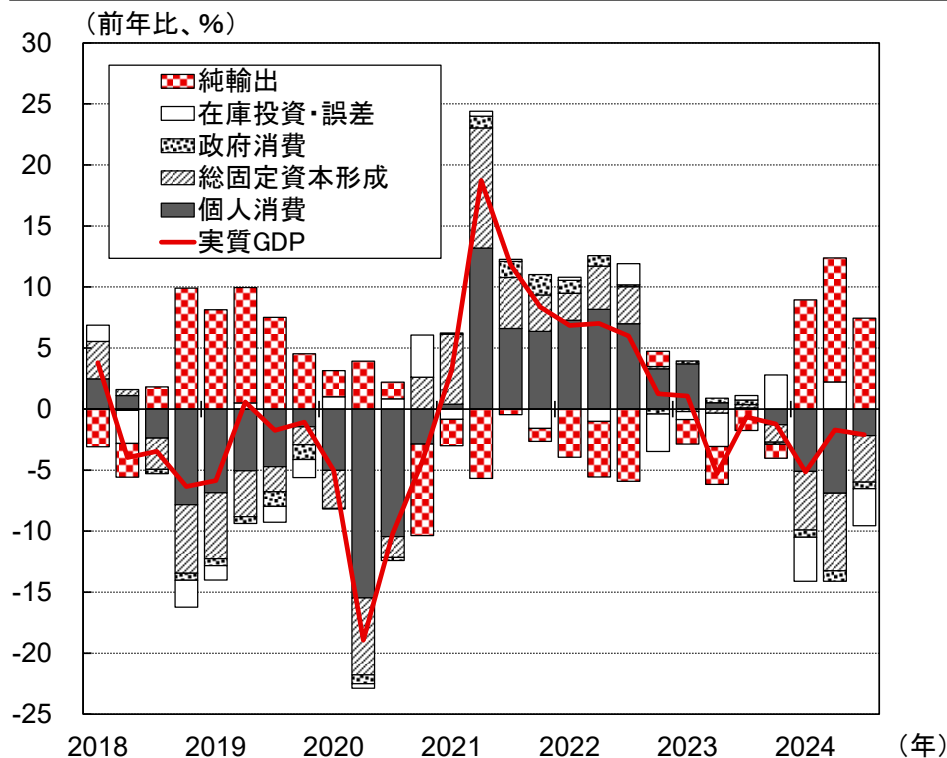
(注)*印:期中平均値、◎印:期末値、○印:季節調整値

(資料)メキシコ中銀、国立統計地理情報院(INEGI)、PEMEXより国際通貨研究所作成

3. アルゼンチン (1) 景気概況

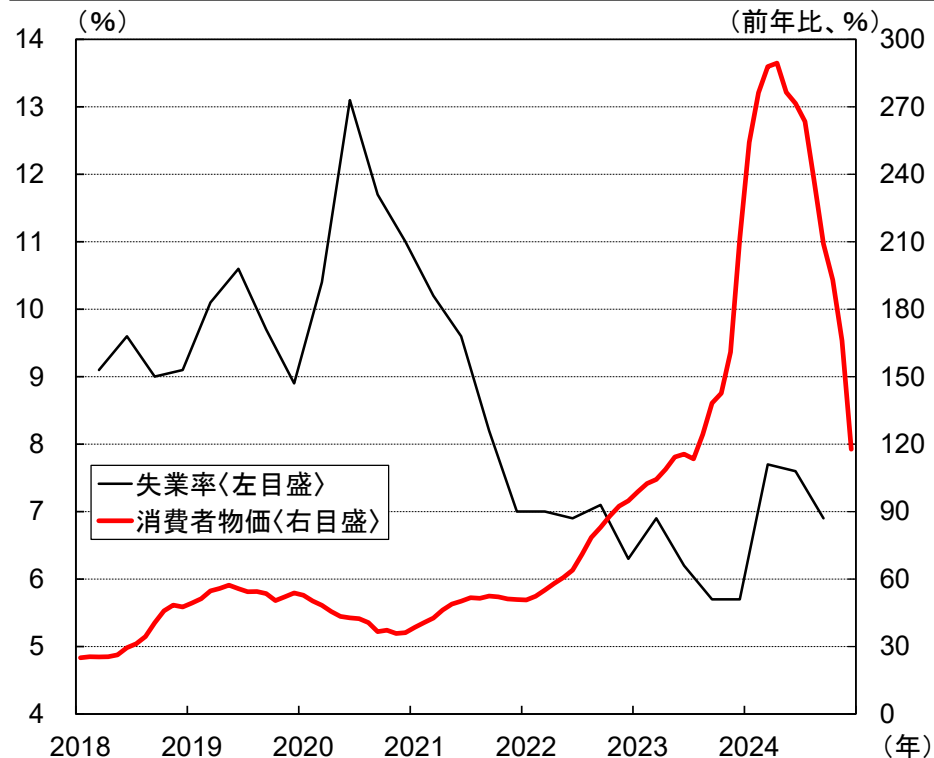
- 2024年7-9月期の実質GDP成長率は、前年比▲2.1%と6四半期連続のマイナス成長。需要項目別の寄与度では、純輸出(同+7.5%ポイント)のプラス寄与が続いたほか、個人消費(同▲2.2%ポイント)と総固定資本形成(同▲3.8%ポイント)はマイナス幅が縮小したものの、在庫投資・誤差(同▲3.0%ポイント)がマイナスに転じた。
- 同年7-9月期の失業率は6.9%と、前四半期からは低下も前年同期を上回って推移。
- 同年12月の消費者物価上昇率は、前年比+117.8%と8カ月連続で減速。

実質GDP成長率の推移



(資料) アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

消費者物価上昇率と失業率の推移

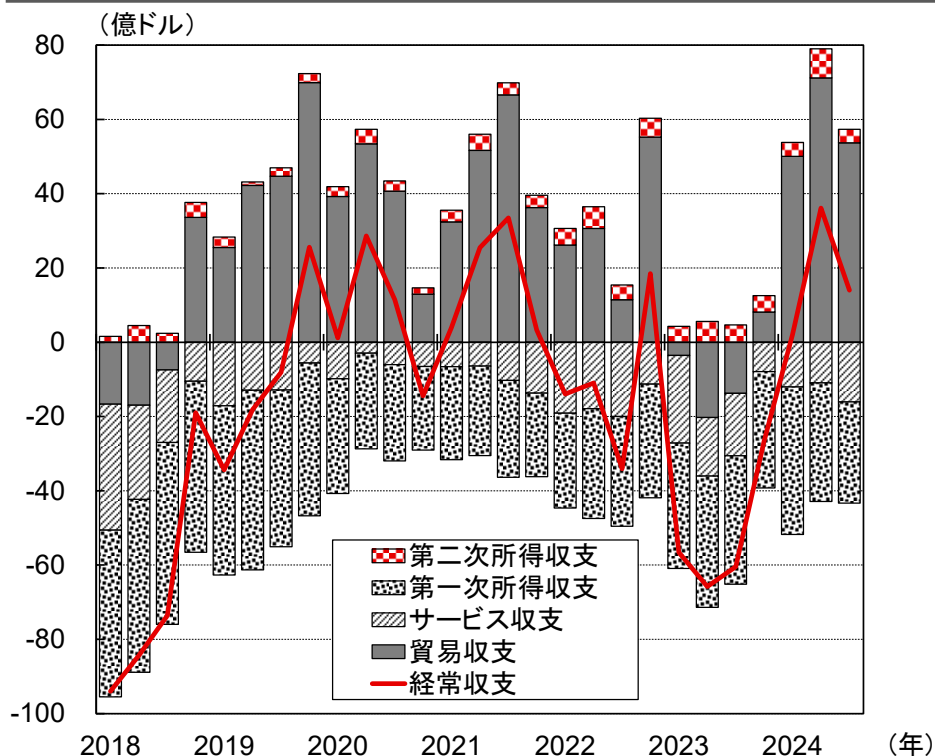


(資料) アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

3. アルゼンチン (2) 経常収支・外貨準備高

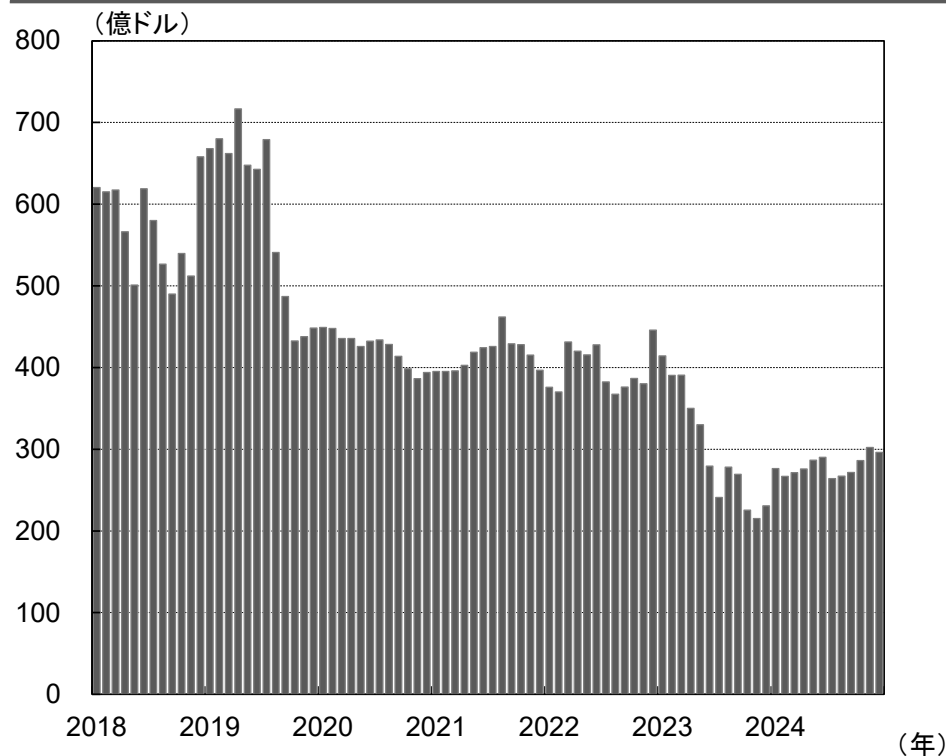
- 2024年7-9月期の経常収支は14億ドルと、前年同期の赤字(▲60億ドル)から黒字に転じた。
- 貿易収支が前年同期の▲14億ドルの赤字から、54億ドルの黒字に転じたことに起因。昨年、歴史的干ばつの悪影響を受けた輸出が回復するとともに、景気低迷により輸入が減少した。サービス収支は▲16億ドル、所得収支は▲24億ドルと、前年同期からほぼ横這い。
- 2024年12月末時点の外貨準備高は296億ドルと緩やかな回復傾向。

経常収支の推移



(資料) アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

外貨準備高の推移

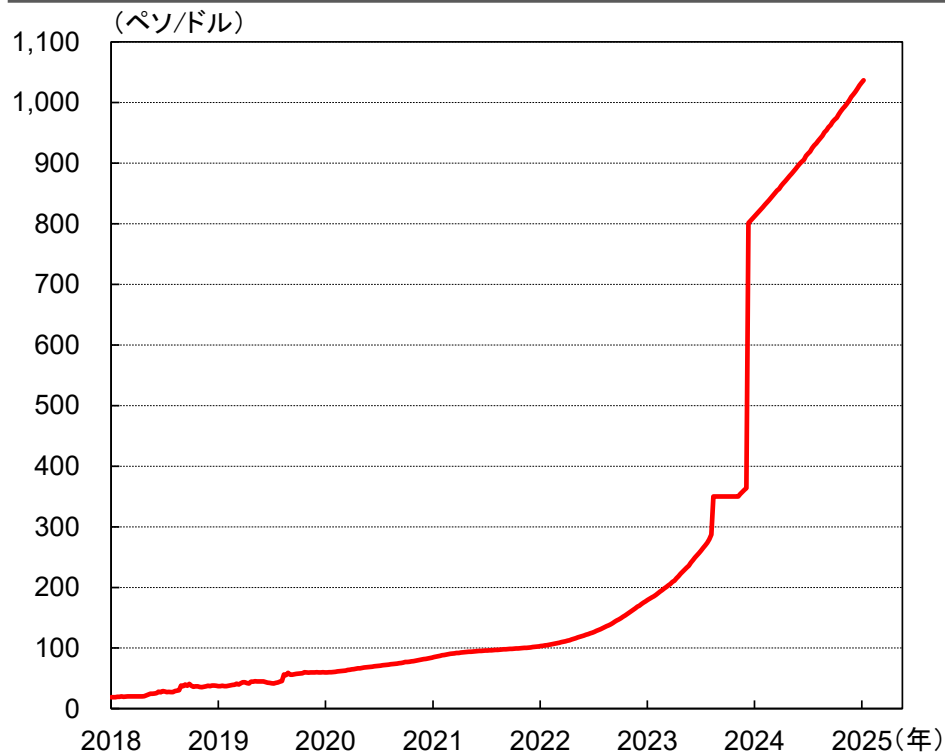


(資料) アルゼンチン中央銀行統計より国際通貨研究所作成

3. アルゼンチン (3) 金融市場

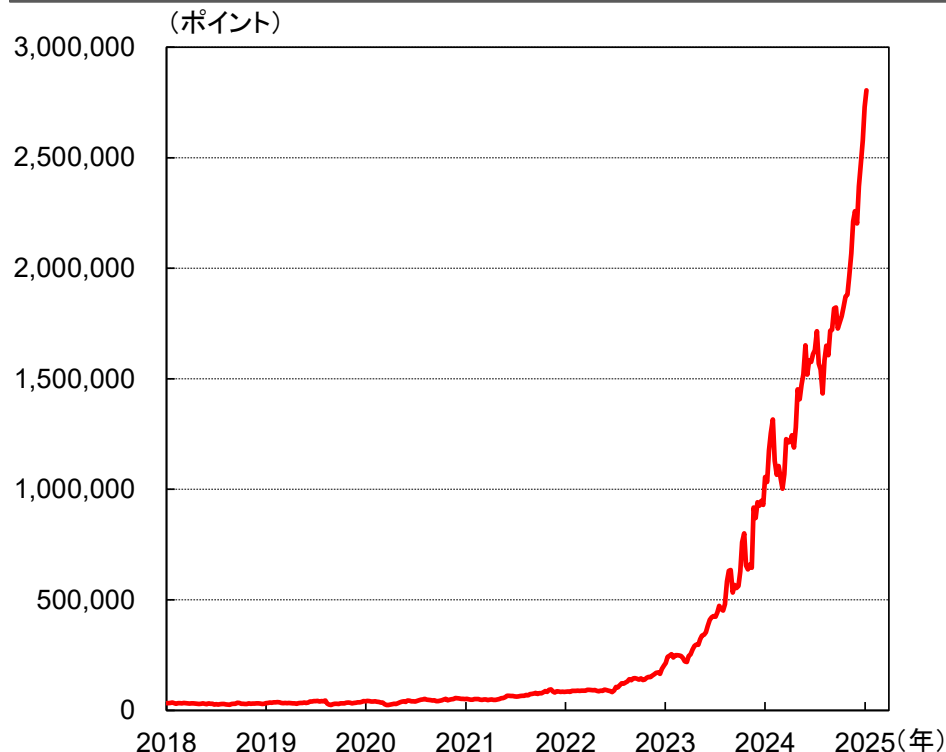
- アルゼンチンペソの対ドル相場(公定レート)は、足元1ドル=1,000ペソ台まで下落。
- 中央銀行は、2024年5月以降40%に据え置いていた政策金利を、インフレの鈍化を踏まえ11月に35%、12月に32%へと引き下げた。
- 株価(メルバル指数)は、足元では2,800,000ポイント台まで上昇。
- フィッチ・レーティングスは2024年11月、外貨建て債務返済能力への信頼感が高まっていると判断し、アルゼンチンの長期発行体格付けをCCからCCCに上げた。

アルゼンチンペソ(対米ドル)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

株価(メルバル指数)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

3. アルゼンチン (4) 経済・金融概況

アルゼンチンの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2021	2022	2023	23/10-12	24/1-3	4-6	7-9	24/9	10	11	12
実質GDP成長率(前年比、%)	(10.4)	(5.3)	(▲1.6)	(▲1.2)	(▲5.2)	(▲1.7)	(▲2.1)				
鉱工業活動指数(前年比、%)	(17.2)	(4.2)	(▲1.7)	(▲6.2)	(▲14.5)	(▲17.3)	(▲6.1)	(▲6.0)	(▲2.0)	(▲1.7)	—
建設活動指数(前年比、%)	(53.4)	(3.5)	(▲3.1)	(▲3.8)	(▲29.5)	(▲35.1)	(▲23.6)	(▲24.8)	(▲24.5)	(▲23.6)	—
自動車生産台数(千台)	435	537	611	145	103	113	146	50	52	54	38
自動車販売台数(千台)	334	376	407	96	79	83	116	44	44	40	49
失業率(%)	(8.8)	(6.8)	(6.1)	(5.7)	(7.7)	(7.6)	(6.9)				
消費者信頼感指数	38.0	36.9	41.1	44.1	36.1	37.6	39.9	39.0	42.4	45.0	46.0
消費者物価上昇率(前年比、%)	(48.0)	(72.4)	(134.5)	(172.8)	(273.5)	(278.7)	(234.2)	(209.0)	(193.0)	(166.0)	(117.8)
輸 出(FOB)(億ドル)	779	884	668	156	174	208	210	69	70	65	—
(前年比、%)	(42.0)	(13.5)	(▲24.5)	(▲26.5)	(9.5)	(18.1)	(18.3)	(20.8)	(30.2)	(31.6)	—
輸 入(CIF)(億ドル)	632	815	737	148	124	137	156	60	61	52	—
(前年比、%)	(49.2)	(29.0)	(▲9.6)	(▲5.8)	(▲23.7)	(▲30.4)	(▲18.3)	(▲8.4)	(4.9)	(▲4.3)	—
貿易収支(億ドル)	148	69	▲69	8	50	71	54	10	9	12	—
外貨準備高(億ドル) ◎	397	446	231	231	271	290	272	272	286	302	296
ベースマネー(億ペソ) ◎	36,540	52,038	96,080	96,080	124,637	201,825	223,961	223,961	227,153	238,239	297,286
対民間部門貸出量(億ペソ) ◎	53,574	90,862	237,481	237,481	314,366	436,475	590,889	590,889	652,256	—	—
(前年比、%)	(42.4)	(69.6)	(161.4)	(161.4)	(192.6)	(221.1)	(242.0)	(242.0)	(235.8)	—	—
経常収支(億ドル)	66	▲41	▲210	▲27	2	36	14				
対米ドル為替相場 ◎	102.75	177.13	808.48	808.48	857.42	911.75	970.92	970.92	990.75	1,011.75	1,032.50
株価指数(メルバル指数) ◎	83,500	202,085	929,704	929,704	1,213,485	1,611,295	1,697,401	1,697,401	1,848,744	2,258,295	2,533,635

(注)*印: 期中平均値、◎印: 期末値

(資料) アルゼンチン中銀、国家統計センサス局、経済省、アルゼンチン大学、OECD、アルゼンチン経済省より国際通貨研究所作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できる
と思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。
内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により
保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名：株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室
〒100-8388 東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行本店ビル

照会先： 国際通貨研究所 森川 央 morikawa@iima.or.jp
土橋 里佳 rika_dobashi@iima.or.jp